



日本二十六聖人殉教地(西坂公園)
 キリストが十字架に架けられたゴルゴタの丘に似ていることから、信者達がこの地を処刑場に願い出たともいわれている。二十六聖人の殉教以降も多くのキリシタンがこの地で処刑された(県指定史跡)

キリスト教文化遺産群を訪ねて
 ③ 長崎市

カトリック教徒の公式巡礼所 日本二十六聖人殉教地

1597年2月5日、豊臣秀吉によるキリシタン禁止令により、日本人信徒20人と外国人宣教師6人が処刑されました。彼らの多くは京都、大坂で捕らえられ、長崎までのおよそ1000キロの道のりのほとんどを歩いて連れて来られました。26人が殉教したことは世界中に伝わり、ローマ教皇とスペイン皇帝のもとへ遺骨と共に報告書が届けられました。そして、1862年、殉教した26人は聖人に列せられました。

その後、殉教地は公園として整備され、26人の列聖から100年目に当たる1962年、彫刻家の舟越保武氏による二十六聖人の等身大のブロンズ像をはめ込んだ記念碑と記念館が建てられました。2012年には、カトリック中央協議会によって、日本カトリック長崎・西坂巡礼所として、日本で唯一のカトリックの公式巡礼所に指定されました。この地では毎年2月第1日曜日に記念ミサが行われています。

【キリスト教文化遺産群】

世界遺産候補「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とともにキリスト教が日本でどのように伝わり、広まり、根付いていったかを示す貴重な遺産です

おらしょこころ旅 検索

問合せ 県の世界遺産登録推進課 ☎095-894-3171



日本二十六聖人記念館
 二十六聖人殉教碑の裏手に建つ資料館。ザビエルの書簡や天正遣欧少年使節の一人、中浦ジュリアンの書簡、信者たちが守り抜いた踏み絵と同型のピエタ(県指定文化財)など、日本のキリスト教の歴史に関する貴重な資料を数多く展示している

世界遺産候補の集落内にある教会堂見学は事前連絡が必要です

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の集落内にある教会堂を見学する場合は、下記窓口へ事前連絡をお願いします。(大浦天主堂は不要)

問合せ インフォメーションセンター ☎095-823-7650